

Vol. 66 ■ No. 11 ■ November 2025

JNM Podcasts

jnm.snmjournals.org/podcasts

Available wherever
you get your podcasts!

JNM

The Journal of Nuclear Medicine

EDITORIAL

Resisting RECIST: PSMA PET and Regulatory Change in Prostate Cancer

Oliver Sartor¹, Louise Emmett², and Ken Herrmann³

¹Department of Medicine, Tulane University, New Orleans, Louisiana; ²Department of Nuclear Medicine, St Vincent Hospital, Sydney, New South Wales, Australia; and ³Department of Nuclear Medicine, University of Duisburg-Essen, Essen, Germany

**RECISTへの抵抗：前立腺がんにおけるPSMA PETと規制変更
～基本的な疑問の解決のために～**

- ・ RECISTだけでは前立腺がんの治療効果を評価するのは難しい
- ・ PCWG2（2008）とPCWG3（2016）の勧告
- ・ PSMA PETは有用なイメージング
- ・ TTV評価は重要だが未検証
- ・ 肝転移は予後不良因子
- ・ 従来の評価方法とPSMA PETを、OS、疼痛管理、QOLなどの臨床的に意義のあるエンドポイントと関連させる
- ・ それによって、基本的な疑問を解決する

＜基本的な問題＞

- ・ PSMA PETの反応/進行パターンは、RECIST/骨スキンの所見と、どのように相関するのか？
- ・ どの画像診断法が、臨床的ベネフィットを最も正確に予測するのか？
- ・ PSMA PETは、従来の画像診断の変化よりも前に、早期反応シグナルを特定できるのか？
- ・ 早期反応シグナルは、臨床的に意味があるのか？
- ・ どの評価方法が、患者と規制当局にとって最も重要なアウトカム（OSとQOL）と最もよく相関するのか？

セラヨコ・トーク



- ・ 日本でもPSMAPETが使える場面が増えるといいね。
- ・ OSだけじゃなくてQOLも重要。